

関覚圓さん、故酒井哲夫さんを表彰

◎平成20年度鬼北町功労賞表彰

鬼北町の発展に顕著な功労があった方を称える鬼北町功労者表彰の表彰式が、5月11日、広見体育センターで行われました。

今回は、社会福祉部門で功績のあった関覚圓さん、地方自治部門で功績のあった故酒井哲夫さんがそれぞれ表彰されました。

関覚圓さんは、平成4年12月から現在に至るまで民生児童委員として熱心な活動をされており、生活困窮者や独居老人など要援護者に対して適切な指導・助言を行いました。住民の要求が複雑になっている現代社



関 覚圓さん（芝）



故酒井哲夫さん（左上）と夫人の酒井貴子さん（久保）

会で、身近な相談員として、住民の立場に立って長年活動された功績が認められました。

故酒井哲夫さんは、平成8年10月に発足した「広見川夢の会」の会長として、広見川の浄化に心血を注ぎ、稚鯉の放流、自生ホタルの復活を目指す環境づくり、菜種やレンゲの播種などをを行い、地域をあげて環境問題に取り組みました。また、合併協議会の委員などを歴任し、豊かな知識と高邁な精神により、新町の基礎作りに貢献した功績が認められました。

伝統行事の保存・継承を支援

◎伊予銀行第33回地域文化活動助成事業

5月9日、伊予銀行宇和島支店で、地域文化活動助成金の贈呈式があり、下大野念仏保存会（兵頭敏和会長）に助成金が贈られました。

この事業は、地域の伝統的な文化活動に対して資金面での支援をしようと、伊予銀行が平成4年から実施しているもので、これまでに724の団体に対して助



成金が贈られています。

今回贈呈を受けた下大野念仏保存会は、昭和43年に設立されて以来、地域の方々の熱意によって引き継がれてきました。毎年8月14日に行われる大泉寺大施餓鬼では、小学生から高校生までの会員によって、「菅公踊り」と呼ばれる供養が約2時間かけて行われています。

鬼北の味を県内外へPR

◎第2回ベンチャーフェアイン松山観光港

5月21日、松山市の松山観光港で第2回ベンチャーフェアが開催され、鬼北熟成きじ、新鮮な野菜や加工品などの特産品を販売しました。

この催しは、松山観光港ターミナル(株)等が自治体と連携し、中予と南予の交流を活性化しようと企画したものです。3月に開催された宇和島市に続き、今回は

鬼北町が主体となって実施されました。

松山の玄関口である松山観光港での開催とあって、特設会場は県内外からの来場者で賑わいをみせ、販売された特産品も大変好評だったほか、同時に行われたもちつき実演販売や牛鬼頭展示のコーナーも人気を集めていました。

